



退職者連合政策制度要求・院内集会 〜2026年特別国会へ向け政策制度要求の実現を期す〜



参議院議員会館で開催されました。本集会には、全国から約300名が参加、JAMシニアからは那珂副会長をはじめ役員5名が参加、総選挙後の重苦しい雰囲気を取り戻す熱気あふれる集会となりました。

2月13日、日本退職者連合の主催による「政策制度要求2・13院内集会」が「紛争の早期終結で平和で安心できる暮らしを若者へつなごう」をスローガンに

冒頭、野田退職者連合会長が主催者を代表して、「今回の衆議院選挙はあつという間の選挙、私たちも従前の労働組合精神を生かして戦ったが、高市旋風が吹き荒れこのよう結果となった。引き続き民主主義を守る、平和な社会を守るために、決してへこたれず行動していききたい。社会保障は先細りになり、介護事業所

は25年の倒産が176件、そのうち訪問介護は最多で倒産が続いている。社会保障が機能するよう厚労省、政党に要請していきたい」との挨拶がありました。

続いて、連合林副事務局長から「政策制度の実現については、無責任な減税競争でなく公平で持続可能な政治の見直しを求め、社会保障について世代間対立を煽るような風潮には危惧を抱いている。年金制度の維持改善、医療・介護の機能強化、包括ケアの確立は全世代の課題である」との挨拶を受けました。

このあと各友好政党代表から連帯の挨拶がありました。

ました。中道改革連合党野田共同代表は「残念ながらかけがえのない多くの同志を失ったことは厳粛に謙虚に受け止めます。平和国家の道を真つすぐ歩いていく覚悟が必要。強い経済も必要だが、それが一人一人の生活者に還元されるための改革が必要」、立憲民主党水岡代表からは「参院については、政策論議、国会運営等を立憲、中道、公明の三者で連携して取り組む。退職者連合の政策・制度要求の、平和と民主主義を守るといった思いと連帯し戦える組織づくりを目指していきたい」、国民民主党川合幹事長代行からは「選挙の争点が見えない中、高市人気でとんでもない結果になった。これまで政治に関わった人の常識が通じなくなった。皆様の政策制度要求を真正面から受け止め、国民が不在のところ、重要な法案が決まらないように、全世代の皆様が光が当たる政策を目指していく」この他、中道改革連合の斎藤共同代表、社会民主党の福島党首、公明党の宮崎労働局長から挨拶を受けました。

昨年1月に約46年間お世話になったJAMを定年退職しました。千葉で27年半、本部で18年半、お世話になった多くの諸先輩や同僚の皆様が改めて感謝を申し上げます。こんなに長く労働運動に携わることなど思いもしなかったわけですが、人との出会いが続けられた最大の要因かなと思います。この間紆余曲折ありましたが、特に2019年の参院比例代表選挙のJAM組織内候補者としての約2年間は生涯忘れられないものとなりました。

私は組織内議員であった故伊藤郁男氏や故今泉昭氏が、たまたま千葉県在住であったことや、身近な津田やたろう議員などの活躍をみて、JAMにとって組織内国会議員は絶対に

必要なんだという強い思いがあり、不戦敗は避けるべきとの思いで立候補の決意をしました。結果は残念でしたが、改めて全国の仲間の素晴らしいさや有難さを思い知った次第です。その後は、村田きょうこ議員、郡山りょう議員が続いて誕生し、しっかりとJAMの代表として国会

現・退一丸となって、両者が確実に再選できるような日常活動の創意工夫が必要だと思います。次にJAMシニアクラブとの関りですが、5年前の秋から本部の事務局次長と千葉の事務局長を双方のシニアクラブから要請があり、そもそも千葉シニアクラブは自身が現役のときに立ち上げたこともあり、共に一つ返事でお受けしました。現在シニアクラブは、会員減少に歯止めがかからず会員拡大が全国的に大きな課題となっています。会員の多くは団塊世代の方々が多数を占めています。今後退職を迎えていく団塊ジュニア世代からも魅力的な存在にならないと会員拡大につながらないと思います。SNSで選挙結果が左右されるような時代ですが、現役もシニアも人との出会い、人との繋がりを大事にした組織運営が重要ではないかと思

長らく労働運動に携わって

JAMシニアクラブ副会長 田中久弥

主張



泉昭氏が、たまたま千葉県在住であったことや、身近な津田やたろう議員などの活躍をみて、JAMにとって組織内国会議員は絶対に

で活躍いただいております。しかし2月の衆議院選挙で政治の潮目が大きく変化し、今後は参院選は不透明感が強くなりました。シニア世代としても、少子・高齢化と人口減少により社会保障制度改革が待たなしの状況です。現役組合員意識の多様化もあると思

大事にした組織運営が重要ではないかと思

埼玉

現役との連携強化懇談会を開催

事務局長 山田順康



議にシニアクラブ三役による説明の場を設けて頂き、会員拡大や共済加入の一助にした...

今回の意見交換で現役もシニアクラブも会員拡大にこれまで同様取り組むことを確認...

連合 春季生活闘争「連合アクシヨンドेम」に参加

2月28日、構成組織・単組、地方連合会から約1,100名が都内に結集し、「こ...



者代表挨拶、各共闘連絡会議の代表からの決意表明、組織拡大に向けての決意表明、闘争アピールがありました。

退職者連合 2026年特別国会に向けた要求

2026年特別国会に向けた要求(社会保障関係係抜粋)日本退職者連合の「2026年特別国会に向け...

1. 年金保険制度

(1) 短時間労働者の被用者年金保険加入拡大

① 短時間労働者の被用者年金保険への加入を速やかに...

② 就職氷河期に遭遇し、やむを得ず短時間労働に従事して...

③ 地域包括ケアネットワークの確立

(1) 地域共生社会施策の推進・ケアラー支援改正

社会福祉法による「重層的支援体制整備事業」を円滑かつ...

(2) 人材の育成・確保と処遇の改善

地域包括ケアネットワーク確立のために医療・介護・リハ...

(3) 医療制度

① 応能負担

高額療養費制度の見直しについ...

② 介護保険制度の応能負担

③ 医療より長期にわたる介護保...

④ 軽度者へのサービスの総合事...

以上

んなど長期療養患者のための多数回該当の負担水準を維持...

(2) 医療提供体制の整備

① 医師の偏在対策には診療科間の調整を含めること。

② 医薬品の安定的な供給体制を早急に確立すること。

(3) 高齢者医療制度における医療費自己負担の在り方の再検討

① 2022年10月から新たに設定された「診療段階におけ...

② 今後改定しようとするときは被保険者・医療従事者...

③ 所得がある高齢者の窓口負担や利用料の「3割負担」の対...

④ 象拡大については、今後の保険収支の状況を見通す中で被...

⑤ 得ること。③入院時の食費の基準見直しは暮らしに直結...

⑥ する問題であり、家計の状況を見極めた上で、介護保険の...

⑦ 基準費用額を参照すること。

(1) 介護労働者の基本報酬改善

2024年度介護報酬で改定された「訪問介護の基本報酬...

引き下げ」は特殊な高齢者集合住宅を除き多くの地域で倒...

産・廃業の要因となった。次期改定を待たず速やかに復元...

改善すること。

(2) 介護保険制度の応能負担

① 医療より長期にわたる介護保...

② 軽度者へのサービスの総合事...

③ ケアマネジメント利用者負担...

④ 軽度者へのサービスの総合事...

⑤ 軽度者へのサービスの総合事...

⑥ 軽度者へのサービスの総合事...

⑦ 軽度者へのサービスの総合事...

⑧ 軽度者へのサービスの総合事...

⑨ 軽度者へのサービスの総合事...

⑩ 軽度者へのサービスの総合事...

⑪ 軽度者へのサービスの総合事...

⑫ 軽度者へのサービスの総合事...

⑬ 軽度者へのサービスの総合事...

⑭ 軽度者へのサービスの総合事...

⑮ 軽度者へのサービスの総合事...

⑯ 軽度者へのサービスの総合事...

⑰ 軽度者へのサービスの総合事...

⑱ 軽度者へのサービスの総合事...

⑲ 軽度者へのサービスの総合事...

⑳ 軽度者へのサービスの総合事...

㉑ 軽度者へのサービスの総合事...

㉒ 軽度者へのサービスの総合事...

㉓ 軽度者へのサービスの総合事...